

市民会館（仮称）市民文化交流センター基本計画策定 ワークショップ その1

テーマ

みんなが利用しやすい魅力ある施設にするために

～施設の機能・動線を考えよう～

開催日時

日時：10月28日（金）
19：00～21：00

場所：和歌山市役所
14階 大会議室

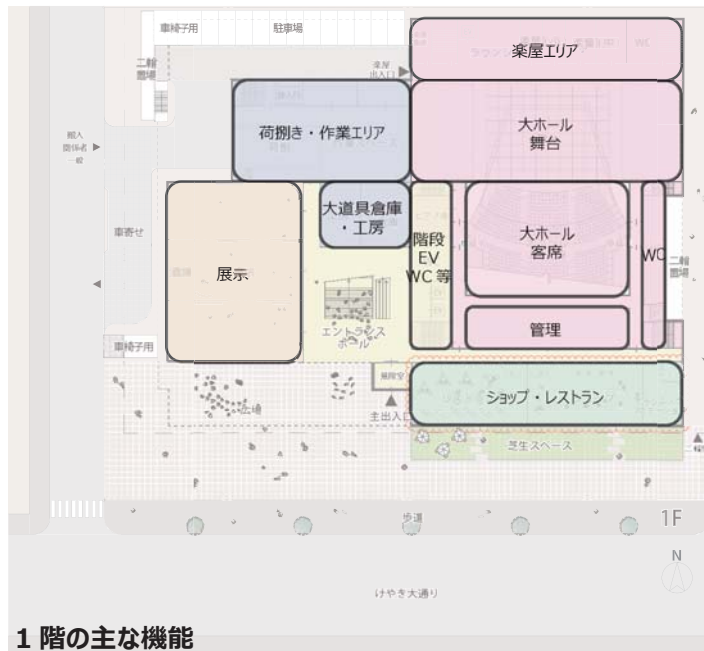


開催内容

和歌山市民会館が伏虎中学校跡地に移転することとなり、新しい市民会館のあるべき姿を市民の皆様と考えていく場として計4回のワークショップを開催しました。第1回目である今回は施設の機能・動線をテーマとし、平面図を見ながらみんなが利用しやすい市民会館についてワークしました。

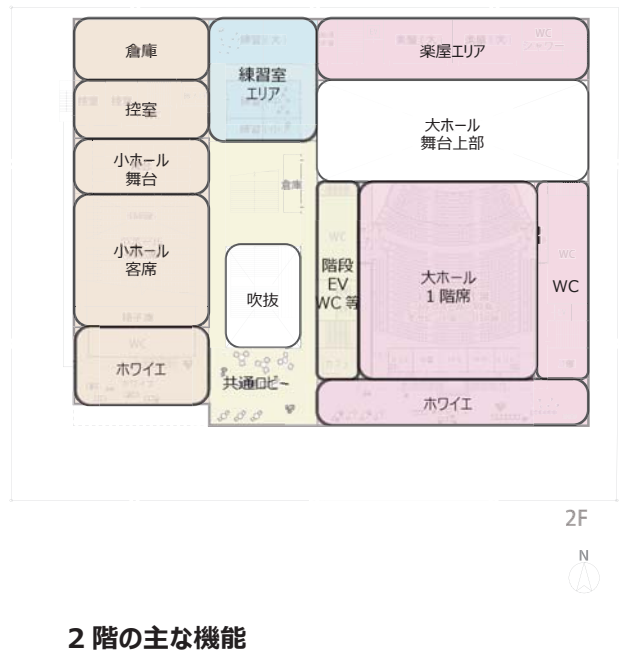
ワークショップの流れ

- 19:00 挨拶
- 19:10 意見交換会による主な意見の説明
これまでに実施した各種利用団体の意見交換会で頂いた主な意見をご説明しました。
- 19:25 現状の平面計画案の説明
プロポーザル提案時から主な意見を反映した平面計画案をご説明しました。
- 19:30 グループワークの実施
- 20:10 休憩
- 20:20 各グループの発表・まとめ
各グループで出た意見を発表して頂きました。
- 21:00 閉会



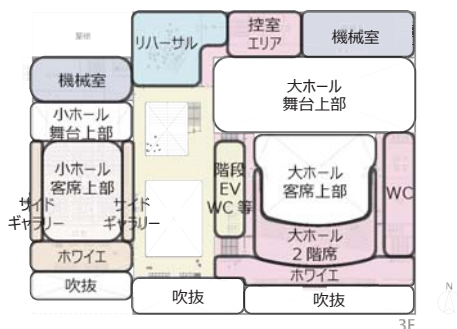
1階の主な機能

広場、展示室、ショップ・レストラン、大ホール舞台
荷捌き・作業スペース、大ホール楽屋



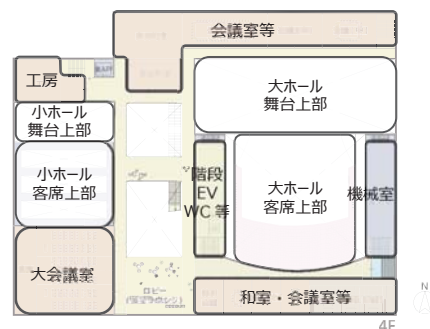
2階の主な機能

共通ロビー、大ホールホワイエ、小ホールホワイエ
大ホール客席、小ホール舞台・客席、練習室



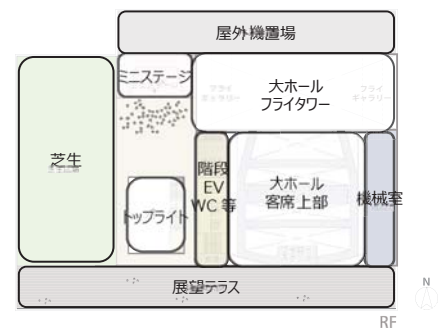
3階の主な機能

大ホール2階席、小ホール2階席入口
リハーサル室



4階の主な機能

眺望ラウンジ、大会議室、会議室、
和室、工房、多目的室



屋上の主な機能

眺望テラス、芝生広場、ミニステージ

各グループの主な意見

A グループ

- ・楽屋を1階に集中させてほしい
- ・搬入口を展示室、メインホール、サブホールで分ける。
- ・駐車場スペースをもっと多くし、薬学部と共通で利用してほしい。
- ・大学との接続により賑わいにつながる。
- ・メインホールとサブホールを同時開催した時、ロビーの混雑が懸念される。
- ・常設ショップは魅力的になりにくいので、企画ショップの方が良い。
- ・小さいレストランよりフリーエリアのカフェの方が賑わうと思う。
- ・トレーニングセンターのような、健康増進機能をもった施設づくりをして欲しい。
- ・車いす利用者でも使いやすいようにエレベータを円形で広げる。
- ・会議室も多機能に利用できるようにして欲しい。
- ・屋上の魅力を高める事により、天守閣から賑わいを感じ取れる。



B グループ

- ・車寄せを広くとらないと渋滞につながる。
- ・敷地内でバス、送迎者が回転できるようにして欲しい。
- ・歩道部分を緑地にして車道との緩衝帯にする。施設への導きにもなる。
- ・楽屋スペースのラウンジは不要なので楽屋を1階にまとめて欲しい。
- ・ドレスや着物の人が歩きやすい通路にして欲しい。
- ・各ホール使用時は一番のViewポイントである柯仁が自由に使用できないので運営面も含めて検討して欲しい。
- ・屋上に屋根をかけてフライタワーのデザインを整えて欲しい。



C グループ

- ・メインホールも可動席にしてスポーツ等多目的に利用できるようにして欲しい。
- ・図書館の分室をつかって欲しい。
- ・学生が勉強出来る学習スペースをつかって欲しい。
- ・スポーツを出来るようにし、PM10時ぐらまで施設を使えるようにすれば可動率が上がる。
- ・バルコニーをつくれば良いと思う。
- ・屋上に農園を造ってほしい。



D グループ

- ・展示室の壁面は最大活用できるようにして欲しい。
- ・イベント時、道を行く人がふと足をとめて入ってくるような仕掛けがあると良い。
- ・駐車場13台程度なら全て車いす対応駐車場にした方がよい。
- ・トイレは一方通行の入口と出口を設けてほしい。
- ・パウダールームが欲しい。
- ・授乳室、一時保育室、ホールに親子室など、小さい子供連れの方も利用しやすい施設にして欲しい。
- ・計画の際、特定の団体に依存しない。
- ・補助金を重視した考えではなく、ランニングコストを意識すること。



まとめ

今回の参加者としては、現市民会館の利用団体の方だけでなく、新市民会館建設地の近隣住民の方や高校生など、様々な市民の方々にお集まりいただき、いろんな角度からご意見を頂くことができました。

今回頂いた大変貴重な意見を踏まえて、新しい市民会館ではたくさんの方々に利用しやすい計画となるよう、検討を進めてまいります。



市民会館（仮称）市民文化交流センター基本計画策定 ワークショップ その 2

テーマ

周辺との調和がとれたデザインについて

～訪れるひとにやすらぎをもたらすために～

開催日時

日時：10月29日（土）
14：00～15：30

場所：和歌山市役所
14階 大会議室

開催内容

第2回目のワークショップでは「周辺との調和や和歌山らしさ」をテーマに、計画地の特徴を踏まえて、まちづくりやけやき通りの景観づくりについてワークしました。

新市民会館の計画地周辺の模型を参考に周辺状況や周りの建物との関係などを踏まえて、新しい市民会館の大きさやけやき通りに面するデザインなどを皆さんで考えました。

計画地は和歌山城に直面するという恵まれた立地条件となっています。和歌山城との関係性や、城下町として栄えていた経緯を踏まえた設えなど、この場所ならではの市民会館となるよう議論しました。

和歌山らしさを考慮した公共建築事例を見ながら、その施設の良さや、新市民会館に取り入れられそうなことについて話し合いました。



プロポーザル提案時の外観イメージ



グループワークの様子



模型写真



模型写真



和歌山城周辺の古地図



和歌山の歴史を感じる設え



和歌山らしさを考慮した建築事例



和歌山らしさを考慮した建築事例

ワークショップの流れ

- 14:00 挨拶
- 14:10 プロポーザル時デザインの説明
プロポーザル提案時の外観デザインの考え方についてご説明しました。
- 14:20 グループワークの進め方の説明
グループワークの主な進め方や役割分担について説明しました。
- 14:30 グループワークの実施
- 15:00 休憩
- 15:10 各グループの発表・まとめ
各グループで出た意見を発表して頂きました。
- 15:30 閉会

各グループの主な意見

A グループ



- ・ガラスは目立たなくし、木の雰囲気強く感じる建物として欲しい。
- ・熊野本宮館のようにわかりやすいデザインで、年配の方でも理解できるようにして欲しい。
- ・斜線のデザインも良い。
- ・市民会館と和歌山城をお掘を跨ぎ繋げる。
- ・紀州の木材を内外に使用して欲しい。
- ・丸みを帯びた建物にして欲しい。
- ・全体的に開放感のある建物にして欲しい。
- ・緑地帯についても周囲と連動し、和歌山らしさを演出して欲しい。
- ・芸術発信の場合、お楽しみ施設なのか、外観からそのコンセプトが感じられない。
- ・くつろげるスペースを多く設けて欲しい。
- ・大きな吹抜は良いが、フロア面積が少なくなるのではないかと感じる。

B グループ



- ・現デザインが良い。
- ・ルーバーの素材を規格品のようにならないように検討して欲しい。
- ・紀州青石を敷いて欲しい。
- ・夏みかんを植栽すれば花は香るし、実は半年鑑賞できる。
- ・ハーフミラーガラスで遮熱を検討して欲しい。
- ・外部から内部で何をしているか見え、感じられるようにして欲しい。
- ・西側の市道は敷地の一部になるように美しくして欲しい。
- ・内観デザインはシンプルなものが多い。
- ・車寄せからアプローチする人は西側を初めに見るため、西面を裏側らしくないデザインとしてほしい。
- ・外から中のイベント等の様子が見えるようなデザインとしてほしい。

まとめ

今回はなかなか市民の皆さんには馴染みがない難しいテーマの中でのワークでしたが、たくさんの意見を頂き、議論することができました。

2つのグループを通して、特に意見が多かったのは「和歌山らしさ」についてです。紀州材や和歌山城との関係など、和歌山ならではの市民会館としたい意向を強く感じました。今後のデザイン検討においても今回頂いた意見を反映できるよう検討してまいります。

市民会館（仮称）市民文化交流センター基本計画策定 ワークショップ その3

テーマ

市民の芸術文化の育成について

～自ら創造し、交流・発信する場に～

開催日時

日時：10月31日（月）
19:00～20:30

場所：和歌山市役所
14階 大会議室

開催内容

第3回目のワークショップでは「市民の芸術文化の育成」をテーマに、主にメインホール以外の部屋をどのように使いたいかについてワークしました。他施設の事例なども見ながら、新しい市民会館でどういった芸術文化活動をしたいか、新しい市民会館がどうあってほしいかについて議論しました。

今回ワークショップは、他施設事例写真等を見て頂きながら、自ら想像し、交流・発信する場のイメージについての意見を書いて頂き、グループ内で意見をまとめ、最後にグループの意見として、発表して頂きました。

ワークショップの流れ

- 19:00 挨拶
- 19:10 他施設事例の説明
他都市の市民会館の事例を紹介し、各部屋の具体的な利用例についてご説明しました。
- 19:20 グループワークの進め方の説明
グループワークの主な進め方や役割分担について説明しました。
- 19:30 グループワークの実施
- 20:00 休憩
- 20:10 各グループの発表・まとめ
各グループで出た意見を発表して頂きました。
- 20:30 閉会



リハーサル室／スタジオ



リハーサル室・スタジオの事例

多目的室・会議室・ギャラリー



多目的室・会議室等の事例

市民活動スペースの例



様々な市民活動スペースの事例



演劇系練習室の事例



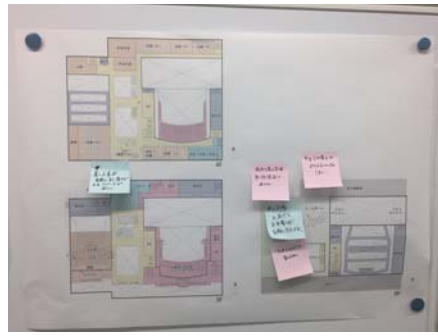
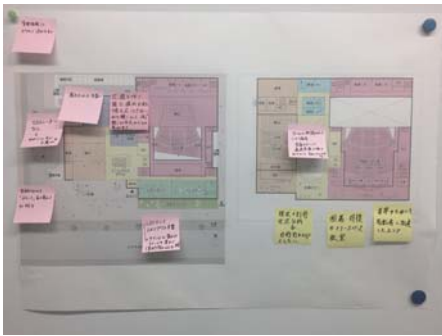
音楽系練習室の事例



その他芸術を育む諸室の事例

各グループの主な意見

A グループ



- ・会議室を〇〇ロフトという名称にし、多目的に利用しやすいように。
- ・まちの賑わいを取り戻す施設として欲しい。
- ・練習を目的とした場所ではなく、本番を想定した施設であること。
- ・各芸術文化が高いクオリティをもって発信できる場であること。その事により全国から人が集まる。
- ・誰もが気軽に練習できるように、施設の敷居を下げてはならない。

B グループ



- ・音楽、演劇、オペラ、美術、講演会、演説会、古典芸能、歌舞伎、能、狂言、バレエ、コンテンポラリー、ダンス、日本舞踊、落語、かた竹大会、入学式、会社説明会、シンポジウム等実現できる施設。
- ・全てのジャンルでレベルの高いものを演出できるようにして欲しい。
- ・舞台美術のレベルを上げて欲しい。
- ・授乳室、一時保育室、母子室の設置をして欲しい。

C グループ



- ・目的がなくてもふらっと立ち寄れる仕掛けが欲しい。
- ・舞台には花道を造り、舞台構成出来る幅を広げて欲しい。
- ・現状の利用と状況分析をし、目的別のエリアとして欲しい。
- ・囲碁、将棋のフリースペース教室。
- ・若い人達が気軽に安く借りられるスペースが欲しい。
- ・田辺市の Big・U のような屋上公園が欲しい
- ・夜間でも屋上広場へ行けるように検討して欲しい。

まとめ

今回のワークショップでは、新しい市民会館が芸術文化の育成で目指すべき姿について、様々な視点から意見を頂くことができました。

特に、グループ全体を通して、市民の芸術文化のレベルを上げるためにスペースだけでなく使用料金を下げ市民がより使いやすい施設にするというソフト面への意見もありました。そのような意見も踏まえて、たくさんの市民に利用される施設を目指して計画を進めてまいります。

市民会館（仮称）市民文化交流センター基本計画策定 ワークショップ その 4

テーマ

新たな市民会館の運営システムを考える

～多くの市民に使い勝手の良い運営システムとは～

開催日時

日時：11月 3日（木）
19：00～21：00

場所：和歌山市役所
14階 大会議室



開催内容

最終回となる第4回目のワークショップでは「運営」をテーマとしました。他都市の市民会館がどういった運営を行っているか事例紹介をして、新市民会館がどうあってほしいかなど以下の3点を順番に議論し、各グループで運営面から見た新しい市民会館のあるべき姿についてワークして頂きました。

① 新しい市民会館にどんな活動・事業をやってほしいかの意見交換

新しい市民会館の運営でどんなことをしてほしいか、どんなことをやったらたくさんの人で賑わう施設となるかなど、それぞれの意見をワークシートに記入して頂きました。

② 市民が新しい市民会館でどんなことをやってみたいかの意見交換

次は逆に新しい市民会館ができたとき、そこでどんなことをしてみたいか、どんなことができるか思いついたことをワークシートに記入して頂きました。

③ 新市民会館のキャッチコピーを考える

最期に市民会館に愛着を持てるように、これまでの意見をふまえて、皆さんでキャッチコピーを考えました。

各グループの意見発表

ワークショップの流れ

- 19:00 挨拶
- 19:10 他施設の運営成功事例の紹介
他都市の市民会館の様々な運営手法を紹介しました。
- 19:25 グループワークの進め方の説明
今回のグループワークの進め方を3つのポイントに分けて説明しました。
- 19:30 グループワークの実施
- 20:10 休憩
- 20:20 各グループの発表・まとめ
各グループで出した意見を発表して頂きました。
- 21:00 閉会



各グループの主な意見

A グループ キャッチフレーズ：30年後の和歌山市に向けて発信する文化芸術センター。

市民会館にやってほしいこと

- ・小学生の団体を定期的に会館に呼ぶ。幼少期から芸術文化に触れてもらう。
- ・学校の先生との交流が必要。
- ・未就学児を呼べる音楽イベントが必要。
- ・ミッションを実現するための事業費を検討して欲しい。

市民がやりたいこと・できること

- ・小学生の団体を定期的に会館に呼ぶ。幼少期から芸術文化に触れてもらう。
- ・学校の先生との交流が必要。
- ・未就学児を呼べる音楽イベントが必要。
- ・ミッションを実現するための事業費を検討して欲しい。



B グループ キャッチフレーズ：愛と文化で交流できる和歌山市民会館。

市民会館にやってほしいこと

- ・春夏秋冬会議で使用され、休みなく利用される活発な運営をして欲しい。
- ・常設の貸スタジオ、リハーサル室を設置し、誰でも気軽に利用できるようにして欲しい。
- ・和歌山出身の演劇、音楽等の団体に協力してもらい、親近感をもって芸術に触れられる場として欲しい。
- ・他府県及び多方面のジャンルの公演や交流が出来る施設づくりをして欲しい。

市民がやりたいこと・できること

- ・管理を企業に一任しない運営。
- ・催し物の垂れ幕。
- ・太陽光発電等の自然エネルギー設備の整備。
- ・今ある文化団体の活動が発信できてこそ文化の広がりがつけられる。



C グループ キャッチフレーズ：和歌山0番丁。世界に誇る日本一の新市民会館。

市民会館にやってほしいこと

- ・屋上農園をつくり、市民参加型で作物を育てる。
- ・年中無休で、夜遅く（PM10：00頃）まで利用できるようにして欲しい。
- ・学習室を設置しPM8：00頃まで利用できるようにして欲しい。
- ・平日夜には文化的な催し物があると人が集まり活気がでる。
- ・日替わり映画館の上映。
- ・定期的なロビーコンサート等、気軽に立ち寄る機会を増やして欲しい。（ホール以外での演出の場）

市民がやりたいこと・できること

- ・市民会館へ来た音楽家がコミュニティーセンターへ出前コンサートをする。
- ・文化芸術を知っている、理解している人を職員に配置する。
- ・他ジャンルとのコラボレーションしたイベント。
- ・全施設を利用したワークショップ祭。
- ・一流の人に来てもらい、本物の芸術文化に関心の無い人達にも感じてもらう。その為の設備が重要。



D グループ キャッチフレーズ：和歌山城の見える文化芸術のテーマパーク。

市民会館にやってほしいこと

- ・和歌山の物産、各地の物産を使った食博、物産展、料理教室。
- ・国宝展示会。
- ・全国利き酒大会。
- ・外国旅行者を対象に着物を着て茶道体験。
- ・地域学校の学園祭ができる場所として利用してほしい。

市民がやりたいこと・できること

- ・外観・内装デザインに予算をかけず、利用者の使い勝手のよい多目的ホールにすること。多目的を目指して、全てのジャンルに適さないホールにならないように。
- ・有名なアーティストとの交流、アウトリーチ発信の場。



まとめ

今回のワークショップは、各グループのキャッチフレーズを見ても分かる通り、それぞれ特徴ある意見を頂きました。この意見は一度受け止めさせて頂き、新しい市民会館の計画に何を反映していくかはこれから検討させて頂きます。

今回で最終回となる計4回のワークショップを通して、様々な視点からたくさんの意見を頂くことができました。ご参加頂いた皆様、本当にありがとうございました。

